

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

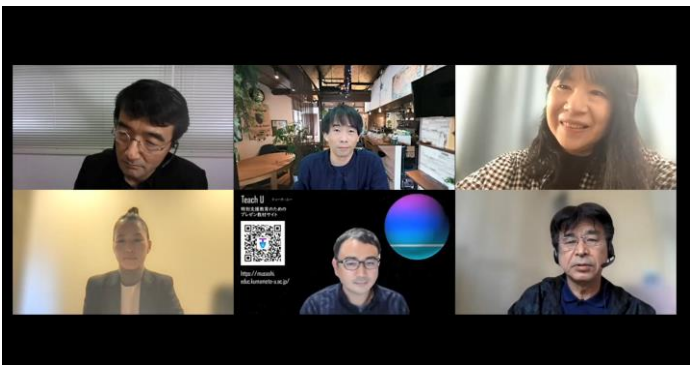
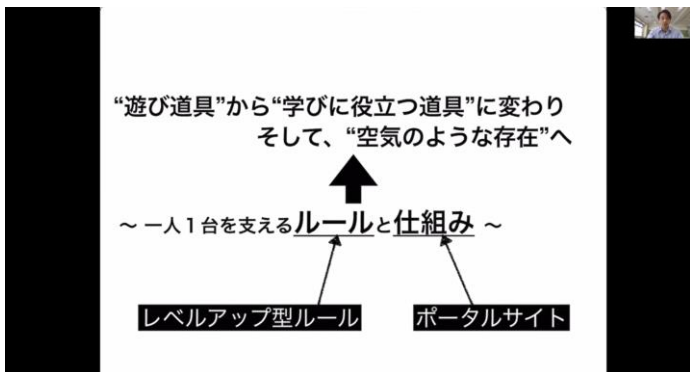
※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。


※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院
コラボ研修プログラム	テーマ： 1人1台情報端末時代の教育を考える ～Society5.0時代に求められる資質能力の育成をめざして～
支援事業報告書	研修等名： NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修 熊本大学教職大学院情報教育研究会
	開催日時：令和3年7月～令和4年2月 各月9時～12時 開催場所：オンラインYouTube配信 熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号） 参加人数と参加者の属性：学校関係者・教育関係者・教職大学院関係者他（県外含） 参加人数 7月185人 8月103人 9月83人 10月104人 11月66人 12月91人 1月75人 2月146人
内容： 7月例会オンライン ロイロノートスクールの授業実践～自ら学びに向かう力を育む授業デザイン～ 8月例会オンライン 1人1台タブレット時代の授業実践～「教わる授業」から「学びとる授業」へ～ 9月例会オンライン 「学びとる」ための授業デザイン～中学校の授業実践とICT活用を促す校内研修～ 10月例会オンライン 一人1台のルールをどう作るか？～さとえ学園小学校のレベルアップ型ルールから学ぶ 11月例会オンライン iPadでデジタル作品を作る～KeynoteとiMovieによる合わせ技～ 12月例会オンライン タブレット型端末と特別支援教育～iPadによる個別最適化された学び～ 1月例会オンライン クリエイティブな学び～iPadによる創造性教育～ 2月例会オンライン デジタルの学びって何だ？～著者と語る「まんがで知る デジタルの学び」～ 進行プログラムの概要（基本的な流れ） 1 開会（5分） 2 講演・実践発表（100分） 3 講演を聞いてブレイクアウトセッション（15分） 4 講演・ブレイクアウトセッションをもとにパネルディスカッション（40分） 5 閉式（10分）	
成果： 研修後のアンケート（自由記述） ・全国の先進的な取り組みを知ることができる。真似してみたいと思う具体的な取り組みが多く、明日からの頑張ろうと思える研修会である。 ・必ずグループで話し合う場が設定されている。その中で質問をしたり、互いの感想を交流したりできるため、学びを確かなものにするができる。さらにグループで出された話題を共有することからも多くのことを学べる。 ・実践を知るだけでなく、スキル研修もあり、新たなタブレットの活用について学ぶことができる。気軽に質問をすることができることもすばらしい。 ・これから何をを目指すのかを知ることができる。日常の取り組みを振り返ることにより、自分の取組に自信を持ったり、さらなる取り組みを見出したりすることができる。 ・熊本県外からの参加が容易にできる。オンラインを生かし、熊本の先進的な取り組みを学ぶことができる。	
アイデアや工夫したこと： ・参加者のニーズに応じるテーマの設定を行い、参加者の満足度を高めることを心掛けた。 ・市内の全小中学校へのチラシの配布、SNS等での全国への呼びかけを充実した。県外からの参加者、継続しての参加者も多くみられた。 ・より多くの参加者にとって意義ある実践発表になるように、オンラインによる研修の利点を生かして県外の先進的な取り組みを行っている方に講演を依頼したり、小学校と中学校の実践の報告を入れたりして計画した。 ・ブレイクアウトルームで、少人数によるグループ協議を行うとともに、出された意見をホワイトボードで集約し、その意見も取り入れながら会を進めた。	

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。


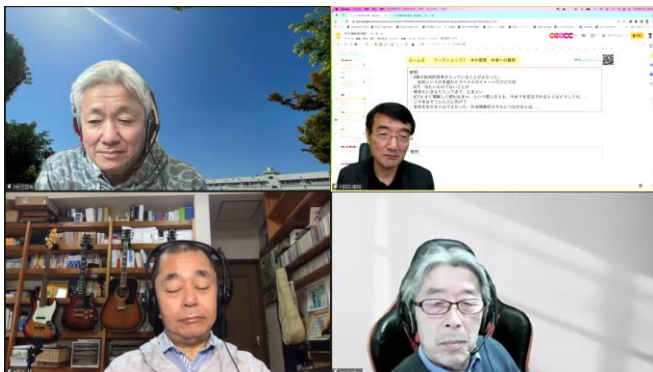


普段からiPadを小まめに使う工夫

宿題での活用例 (1)  **自分のゲーム実況**
難しい漢字ランキング

おじいちゃんにインタビューして
プレゼン作り

自分の興味のあるものを紹介する

- | | |
|-------|----------|
| 7月例会 | 8月例会 |
| 9月例会 | 10月例会 |
| 10月例会 | 11月例会 |
| 12月例会 | 1月例会 |
| 2月例会 | の順の並びです。 |

すべてがオンラインのため、参加者の表情がわかる写真がありません。